MASPRO

屋内用 BL型　ブースター

VHF BOOSTER
FM・ch1～12
V-2 (KA40)

UHF BOOSTER
ch13～62
U-2 (UKA36)

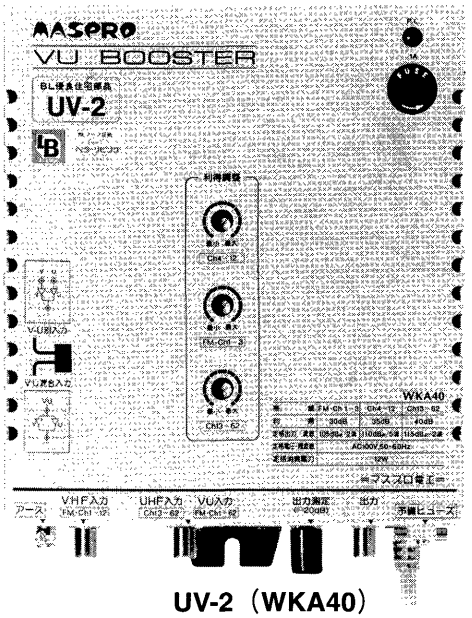
VU BOOSTER
FM・ch1～62
UV-2 (WKA40)

AC100V方式

（　）はマスプロModel

優良住宅部品
テレビ共同受信機器

取扱説明書
施工説明書



UV-2（WKA40）

大規模な中・高層共同住宅の共同受信に適した信頼性の高いブースターです。

MASter of PROduction
生産の覇者

目次

ページ

安全上のご注意 …… 2

取扱説明

特長・各部の名称 …… 4

規格表・付属品 …… 5

施工説明

F型コネクター(**FP5**, **FP7**)の取付方法 …… 6

取付方法 …… 6

ケーブルの接続 …… 7

実用入力レベルについて …… 7

出力レベルの調整 …… 7

正しく使用していただくために …… 8

保証について

無償修理規定 …… 8

ＢＬ部品とは

(財) ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって，品質，性能，アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定した住宅部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので，安心してご利用できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書・施工説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの
MASPRO
＝マスプロ電工＝

安全上のご注意　ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この『安全上のご注意』には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

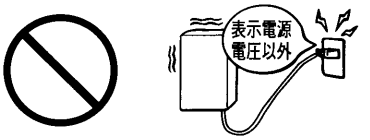
⚠ 警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

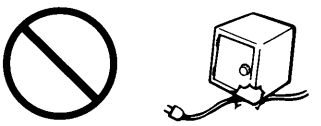
	△ 記号は，注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容（左図の場合，警告または注意）が描かれています。
	⃠ 記号は，禁止の行為を示しています。 図の中や近くに禁止内容(左図の場合，分解禁止)が描かれています。
	●記号は，行為を強制したり指示する内容を示しています。図の中に指示内容（左図の場合，ACプラグをACコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

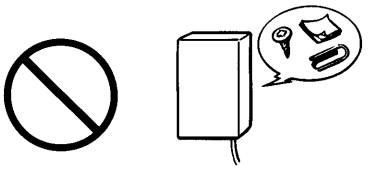
●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



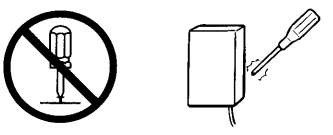
●電源コードを傷つけたり，加工したり，無理に曲げたり，ねじったり，引張ったり，加熱したりしないでください。また，重いものを載せたり，熱器具に近付けたりしないでください。電源コードが破損して，火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合（芯線の露出，断線など），販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。



●ブースターの内部に，金属類や燃えやすいものなど，異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。

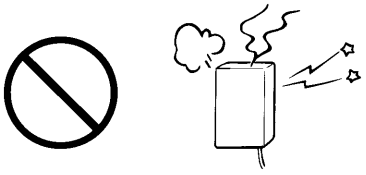


●ブースターのカバーを外したり，改造をしたりしないでください。また，ブースターの内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



⚠警告

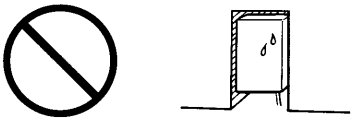
●煙が出ている，変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると，火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き，症状が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また，テレビの画像が映らない，音声が出ないなどの症状があるときも，テレビと共にブースターのACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから，絶対におやめください。



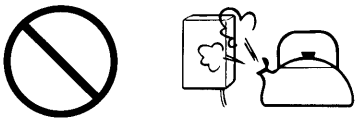
●雷が鳴出したら，アンテナ線・ACプラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

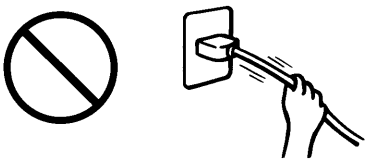
●ブースターは，風通しの悪いところで使用しないでください。
風通しを悪くすると内部に熱がこもり，火災の原因となることがあります。また，グラスウールのような断熱材の上に置いたり，包んだりしないでください。



●ブースターは，湿気やほこりの多い場所，調理台や加湿器のそばなど，油煙や湯気などが当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



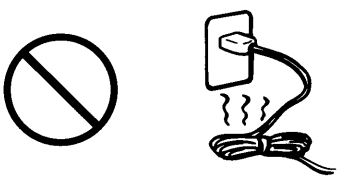
●ACプラグをACコンセントから抜くときは，電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき，火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。



●濡れた手で，ACプラグを抜差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

●ACプラグは，ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり，火災の原因となることがあります。また，ACプラグは，定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

●電源コードは，結んだり，束ねたりしたままで使用しないでください。
発熱して，火災の原因となることがあります。



取扱説明

特長

優れた温度特性

PINダイオードを使用した利得調整回路ですから，⊖10～⊕40°Cの温度変化に対して，利得変動がほとんどなく，常に安定した動作をします。

定電圧回路内蔵

電源電圧がAC90～110Vの間で変化しても，性能の変動はありません。

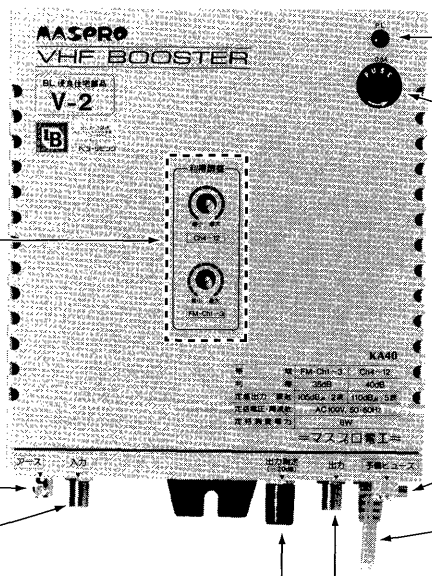
各部の名称

ご注意

利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。

VHFブースター
V-2（KA40）

UHFブースター
U-2（UKA36）



利得調整
（UHFブースター**U-2（UKA36）**は，利得調整が１つです。）
出力レベルが標準利得から⊖10dB連続して調整できます。

電源表示灯

ヒューズホルダー（電源ヒューズ）
（ミゼット管型ヒューズ 定格 0.5A）

ご注意
定格値を超えるヒューズは絶対に使用しないでください。

アース端子

入力端子

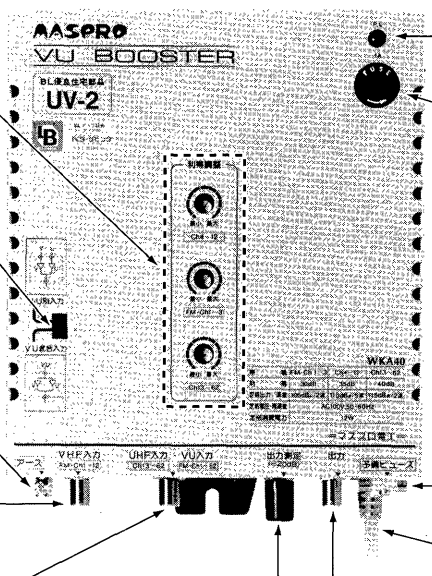
出力測定端子（⊖20dB）

出力端子

予備ヒューズ（定格 0.5A）

電源コード（約1m）
（コードを延長するために，途中で切断して別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。）

VUブースター
UV-2（WKA40）



利得調整
出力レベルが標準利得から⊖10dB連続して調整できます。

入力切換スイッチ
- 入力がV・U別々のときは，**VU別入力**に切換えてください。
- 入力がVU混合のときは，**VU混合入力**に切換えてください。

アース端子

VHF入力端子
- 入力がV・U別々のときのVHF入力端子です。
- 入力がVU混合のときは使用しません。付属のキャップをかぶせてください。

UHF入力端子・VU入力端子
- 入力がV・U別々のときのUHF入力端子です。
- 入力がVU混合のときのV・U入力端子です。

出力測定端子（⊖20dB）

出力端子（UHF・VHF出力）

電源表示灯

ヒューズホルダー（電源ヒューズ）
（ミゼット管型ヒューズ 定格 1A）

ご注意
定格値を超えるヒューズは絶対に使用しないでください。

予備ヒューズ（定格 1A）

電源コード（約1m）
（コードを延長するために，途中で切断して別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。）

規格表

項目	V-2（KA40）		U-2（UKA36）	UV-2（WKA40）		
周波数帯域	76～108MHz（FM・ch1～3）	170～222MHz（ch4～12）	470～770MHz（ch13～62）	76～108MHz（FM・ch1～3）	170～222MHz（ch4～12）	470～770MHz（ch13～62）
標準利得	35dB以上	40dB以上	35dB以上	30dB以上	35dB以上	40dB以上
利得調整範囲	⊖10dB（連続可変）	⊖10dB（連続可変）	⊖10dB（連続可変）	⊖10dB（連続可変）	⊖10dB（連続可変）	⊖10dB（連続可変）
雑音指数	8dB以下		10dB以下	8dB以下		10dB以下
定格出力／波数	105dBμ／2波	110dBμ／5波	115dBμ／2波	105dBμ／2波	110dBμ／5波	115dBμ／2波
伝送帯域内周波数特性偏差	任意の6MHzで±1.0dB以内、およびch1～3、ch4～12で±2.0dB以内		任意の6MHzで±1.0dB以内、および任意の100MHzで±2.0dB以内	任意の6MHzで±1.0dB以内、およびch1～3、ch4～12で±2.0dB以内		任意の6MHzで±1.0dB以内、および任意の100MHzで±2.0dB以内
混変調	⊖46dB以下					
相互変調	⊖55dB以下					
利得安定度	±3.0dB以内（温度：⊖10～⊕40°C、電圧：AC100±10V）					
ハム変調	⊖54dB以下					
入・出力インピーダンス	75Ω（F型コネクター）					
電圧定在波比	2.5以下		3以下	2.5以下		3以下
出力測定端子インピーダンス	75Ω（F型コネクター）					
耐衝撃波試験	15kV（1.2／50μs）のサージ電圧に耐えること					
電源電圧（周波数）	AC100V（50・60Hz）					
消費電力	8W			12W		
使用温度範囲	⊖10～⊕40°C					
外観寸法	200（H）×170（W）×70（D）mm					
質量（重量）	約1.3kg			約1.7kg		
シンボル	▷					
備考	避雷回路内蔵、定電圧回路内蔵					

付属品

V-2（KA40），U-2（UKA36）

F型コネクター（5Cケーブル用）…… 2個
壁面取付金具…… 1個
木ネジ（壁面取付用）…… 3本
予備ヒューズ（定格0.5A　本体に付属）… 1本

UV-2（WKA40）

F型コネクター（5Cケーブル用）…… 3個
壁面取付金具…… 1個
木ネジ（壁面取付用）…… 3本
キャップ …… 1個
予備ヒューズ（定格1A　本体に付属）… 1本

施工説明

●関連法規

テレビ共同受信システム工事には，下記の法律が適用されます。

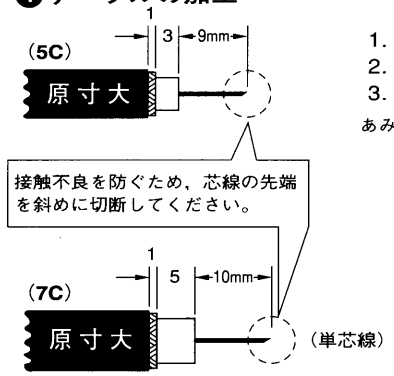
●有線電気通信法　●有線テレビジョン放送法

F型コネクター(FP5，FP7)の取付方法

5C用プラグFP5（付属品）
7C用プラグFP7（別売）

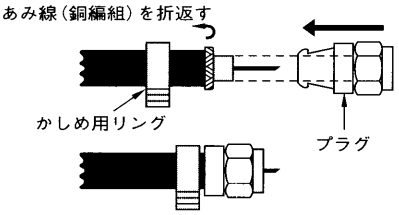
●接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。

❶ケーブルの加工



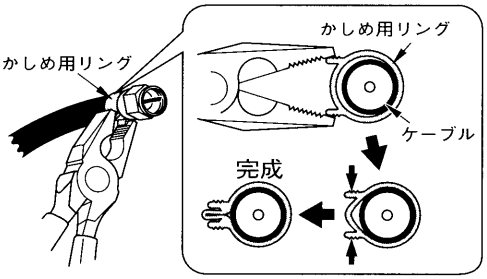
❷プラグの取付

1. かしめ用リングを，ケーブルに通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

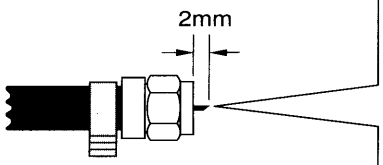


❸かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。



完成図



芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

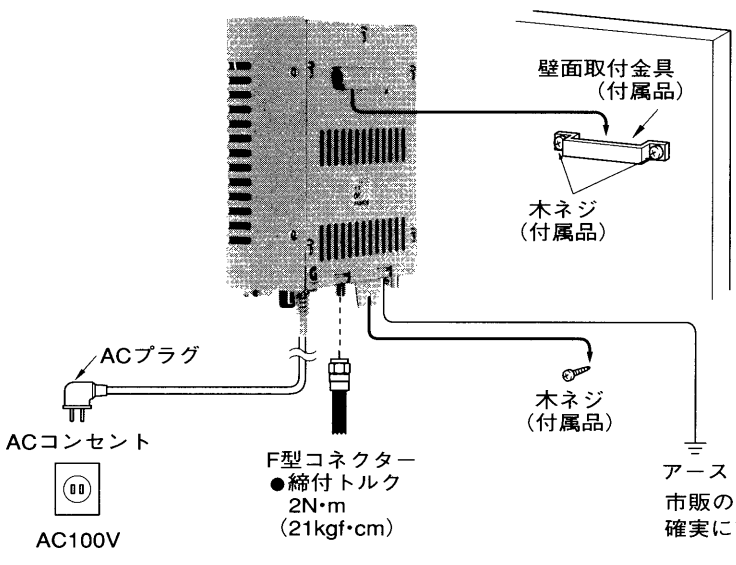
芯線の長さは，必ず2mmにしてください。

芯線は，まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。

取付方法

●機器収容箱(鉄製の場合)は，400(H)×400(W)×180(D)mm以上のものを使用してください。
●本器は，屋内設置専用です。雨水のかかる場所では防水型の機器収容箱に収納してください。



●機器収容箱にACコンセントを用意してください。
●電気配線と同じように，あらかじめ収容ボックスをアースしてください。

ご注意

●ACプラグは，共同受信の配線工事がすべて終了してから，ACコンセントに接続してください。

●ブースターは，風通しの悪い場所(天井裏・断熱材の上など)に設置しないでください。発熱して故障の原因となります。

ケーブルの接続

V-2，U-2

●入力端子にVHF(またはUHF)入力用のケーブルを接続してください。
●出力端子にVHF(またはUHF)出力用のケーブルを接続してください。

UV-2

VHF，UHF信号が混合されている場合

●入力切換スイッチをVU混合入力側に切換え，VU入力端子にV・U入力用のケーブルを接続してください。
●出力端子にV・U出力用のケーブルを接続してください。

VHF，UHF信号が別々の場合

●入力切換スイッチをVU別入力側に切換え，VHF入力端子にVHF入力用のケーブルを，UHF入力端子にUHF入力用のケーブルを接続してください。
●出力端子にV・U出力用のケーブルを接続してください。

実用入力レベルについて

ブースターを1台だけ使用するときの値です。

	V-2 (KA40)	U-2 (UKA36)	UV-2 (WKA40)	
実用入力レベル 最小入力レベル ～ 最大入力レベル	47～70 (80) dBμ	49～80 (90) dBμ	VHF	UHF
			47～75 (85) dBμ	49～75 (85) dBμ

●最小入力レベルは，VHF，UHFともCN比が38dBのときの値です。
●(　　)内は利得最小時の最大入力レベルです。

最小入力レベル以下で使用した場合

● スノーノイズが目立つようになり，鮮明な画像が得られません。

最大入力レベル以上で使用した場合

● 相互変調によるビート縞，混変調によるワイパー現象(画面を横に拭いていくような太い帯模様)が発生し，画質が劣化します。

出力レベルの調整

出力測定端子で出力レベルを測定してください。(測定値に20dBを加えた値が出力レベルです)

定格出力レベルは，FM・ch1～3：105dBμ (2波)，ch4～12：110dBμ (5波)，ch13～62：115dBμ (2波)です

定格出力レベルを超えない範囲で希望のレベルに調整してください。この値を超えている場合，利得調整で調整してください。

● 利得調整を (左) に回すと出力レベルを，10dB以上下げることができます。
● 利得調整を (左) にいっぱい回しても定格出力レベルを超えるときは，入力端子に別売のアッテネーター(**ATT1.5，3，6，10，15，20**)を使用してください。

出荷時の利得調整は，標準利得に設定してあります

正しく使用していただくために

よい画質が得られないときは，次のチェックをしてください。

画像が出ない場合または著しくスノーノイズが出る場合

1. 電源 ―― 規定の電圧（AC90～110V）が供給されていますか。
2. 入・出力端子 ―― 入力と出力が逆に接続してありませんか。
   UV-2の場合，VHFとUHFの入力が間違って接続されていませんか。
3. 入力切換スイッチ ―― 正しく操作してありますか。（**UV-2**）
4. 利得調整 ―― 利得が最大（㊨へいっぱいに回した状態）になっていますか。
5. ケーブル・コネクター ― 断線またはショートしていませんか。
6. 入力レベルの測定 ―― 実用入力レベルの範囲になっていますか。

画像にビート縞，ワイパー現象が出る場合

1. 利得調整 ―― 症状が消えるまで，利得調整を㊧へ回してください。
2. アンテナの方向 ―― 不要電波による混信がありませんか。画質が最も良好になるようにアンテナの方向を調整してください。
3. 入力レベルの測定 ―― 実用入力レベルの範囲になっていますか。

保証について

無償修理規定

保証期間内に取扱説明書・施工説明書記載事項にしたがった正常な使用状態で故障した場合，当社支店・営業所までお申し付けください。
この製品の保証期間は，お引渡しの日から2年間とします。

保証期間内でも下記の場合，有償修理となります。

① 日本国以外で使用した場合の不具合。
② 住宅用途以外で使用した場合の不具合。
③ ユーザーが適切な使用，維持管理をおこなわなかったことに起因する不具合。
④ メーカーが定める施工説明に基づかない施工，専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
⑤ 建築躯体の変更など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合，塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の現象。
⑥ 海岸付近，温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
⑦ ねずみ，昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
⑧ 火災・爆発事故，落雷・地震，噴火，洪水，津波などの天変地異または戦争，暴動などの破壊行為による不具合。
⑨ 消耗部品の消耗に起因する不具合。
⑩ 電気の供給トラブルなどに起因する不具合。
⑪ 瑕疵に起因して，住宅部品その他の財物の使用ができなくなったことによって生じた不具合。

●生産中止後の取換えパーツ（ヒューズ）の供給可能な期間は10年です。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802-2244
工事営業部 〃 (052)802-2225
技術相談 〃 (052)805-3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098)854-2768
鹿児島 (099)812-1200
宮崎 (0985)25-3877
熊本 (096)381-7626
長崎 (095)864-6001
福岡(支)(092)531-3861
北九州 (093)941-4026
下関 (0832)55-1130
徳山 (0834)32-2954
広島 (082)230-2351
松江 (0852)21-5341
岡山 (086)252-5800
松山 (089)973-5656
高知 (088)882-0991
高松 (087)865-3666
姫路 (0792)34-6669
神戸 (078)843-3200
大阪(支)(06)6635-2222
工事営業部(06)6632-1144
京都 (075)646-3800
和歌山 (073)473-8867
津 (059)234-0261
岐阜 (058)275-0805
名古屋(支)(052)802-2233
工事営業部(052)804-6262
豊橋 (0532)33-1500
静岡 (054)283-2220
松本 (0263)57-4625
福井 (0776)23-8153
金沢 (076)249-5301
新潟 (025)287-3155
横浜 (045)784-1422
渋谷(支)(03)3409-5505
工事営業部(03)3499-5631
秋葉原 (03)3255-7335
青戸 (03)3695-1811
八王子 (0426)37-1699
千葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000
前橋 (027)263-3767
水戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)660-5008
郡山 (024)952-0095
仙台 (022)786-5060
盛岡 (019)641-1681
秋田 (018)862-7523
青森 (017)742-4227
函館 (0138)53-7355
札幌 (011)782-0711
釧路 (0154)23-8466
旭川 (0166)25-3111
北見 (0157)61-0480

MASter of PROduction
生産の覇者
2K55-274
N·1104274·1L
OCT., 2001